



SANJO ROTARY CLUB

三条ロータリークラブ

週報 No.3

2007.7.18 (No.2464)

第2560地区ガバナー／渡辺敏彦  
 会長／荻根澤 隆雄  
 会長エレクト／中村和彦(クラブ奉仕A)  
 副会長／菊池 渉(クラブ奉仕B)  
 幹事／杉山 幸英  
 S A A／浅野金治  
 会計／山田 富義

例会日／毎週水曜日12:30～  
 例会場及び事務局／  
 三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店内  
 例会場／TEL 34-3311  
 事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095

E-mail: sanjo-rc@cpost.plala.or.jp  
 http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/  
 (〃はshiftを押しながら“へ”のキーを  
 押してください)

■本日の出席会員数:62名中45名  
 ■先々週出席率:91.67%

【先週のメイクアップ】

- [7.12] 加茂RCへ(夜例会)  
・渡邊喜彦さん
- [7.12] 三条東RCへ  
・加藤紋次郎さん、渡邊喜彦さん
- [7.17] 三条北RCへ  
・斎藤弘文さん
- [7.17] 田上あじさいRCへ  
・加藤紋次郎さん
- [7.17] 分水RCへ  
・渡邊喜彦さん



「ロータリーは分かちあいの心」

2007～2008年度国際ロータリーのテーマ



ギボシ

## 会長挨拶

荻根澤隆雄 会長



ご挨拶を申し上げます。

先週は台風4号が沖縄を始め九州或いは四国、紀伊、東海各地に被害を及ぼしました。被災地並びに被害を受けられた方々にはお見舞いを申し上げる次第です。また、一日も早く復興を願うばかりであります。

さて、その台風4号に新潟県が被害に遭わなくて良かったと安堵を致したのも束の間でありました。一昨日の16日午前10時

13分に柏崎沖を震源とした地震の発生、中越沖地震であります。

私は家に居りました。揺れを感じて「ついに来たか!! 三条にも震源が」と一瞬に思ったほどでありました。

昨日、柏崎へ行って来ました。2社ほどお付き合いがある会社があり、救援として午前中に社員4名、車2台で水や食料品を積み込んで柏崎へ走らせました。私も後追いになりましたが午後2時過ぎに三条を出ました。

116号線は渋滞しているとの情報で山間の道を走りましたが、矢張り道路は至る所で陥没或いは隆起の箇所が沢山あり、のろのろ走行でしたが茨目と言う地名の所にあります金型製作業者へ着いたのが4時頃であります。

建屋の中へ案内され思わず目を覆いたくなる様な惨状を見るに付け言葉が出ませんでした。精密加工をする機械類が倒壊そして土間が凹凸になっており復旧に1週間以上は掛かるかなと思ったら、その社長は電気さえくれば四日で復旧すると言ったので「必要な物があつたら遠慮無く云ってくれ。」と行って帰って来ました。行きは辿り着くのに必死だった為に気が付かなかったのですが、近くの12軒くらいの部落で半分の家屋が倒壊していました。調査が進むにつれて被害の大きさが更に膨らむものと感じました。

何にしろ、国や県に対しては被害者の救済やインフラも含め

被災地が通常の生活に戻れるように、復旧に最善の支援を期待したいものでありますし、今回の地震で亡くなられた方々のご冥福を祈るばかりであります。

また、刈羽原発の安全性で不安視された東電株が売られ、地震関連株に買いが集まったことで、どんな状況下でも売り買いの材料になることを改めて感じました。

そして亥年の年は災害が多くあると言われておりますが、できればこれからは外れて欲しいと願うばかりです。

来週は納涼例会であります。多くの皆様のご出席をお願い致します。

挨拶終わります。ありがとうございました。

## 幹事報告

杉山幸英 幹事

◎渡辺ガバナー事務所より「インターアクト大会」無期延期のお知らせが届いております。

## ニコニコBOX

荻根澤隆雄さん

小宮さん、長谷川さん、卓話ご苦労様です。  
中越沖地震、三条地域大きな被害も無く安堵致しております。

杉山幸英さん

小宮会員、長谷川会員、卓話御苦労様です。  
たっぷり15分有りますので楽しみにしております。

渋谷健一さん

先般クラブ会報佐藤委員長先生より、過分なご厚配に預り恐縮しており、BOXに入れさせていただきます。

山田富義さん

突然の中越沖地震。被災された方々の御見舞い申し上げます。  
小宮会員、長谷川会員の卓話楽しみにしています。

五十嵐昭一さん

中越沖地震がおき、災害は忘れない内にやってきました。  
九州南が“つゆ”が明けました。早くつゆ明けが来ないか待遠しいです。

藤田紘一さん

地震には大変心配致しましたが、被害はありませんでした。皆様はいかがでしたか。

石月良典さん

小宮さん、長谷川さん、卓話よろしくお願ひします。  
地震の当日上野にいて、福島郡山経由で高速バスに乗りつぎで帰ってきました。心よりお見舞い申し上げます。

橘 直樹さん

中越沖地震で被災にあわれた方にお見舞い申し上げます。あわせて台湾の洪さんを始めおもわぬ人からお見舞いの連絡をいただき、仲間の素晴らしさを感じております。

小出子恵出さん

忘れないうちに災害はやって来ます。危機管理対策が必要だと思い知らされました、地震に。

明日川賢一さん

小宮さん、長谷川さん卓話ありがとうございます。  
中越沖地震にはおどろきました。被害が最小限ですみますように。

石塚欣司さん

中越沖地震で被災された皆様に御見舞い申し上げます。

樺山 仁さん

中越沖地震にはビックリ！大変なこととなりました。お客様の店がメチャメチャでした。

若槻八十彦さん

我が家は、物凄揺れ方でしたが、小さな石燈籠2本の被害で済みました。

川瀬康裕さん

中越沖地震、被災者元気回復願って。  
小宮、長谷川会員卓話ご苦労さまです。

菊池 渉さん

地震で京都行きキャンセルしました。お陰で例会に出席できるし、小宮さん、長谷川さんの卓話も聞けます。

田中 仁さん

中越沖地震にて被災された方々へお見舞い申し上げます。

石倉政雄さん

中越沖地震、被災者の一日も早い復興を祈念して!!

金子俊郎さん

小宮好智さん、長谷川聡さん卓話ご苦労様です。  
地震の災害がなくホッとしております。被災地には心より御見舞い申し上げます。

佐藤 武さん、船越正夫さん、平原信行さん、

丸山行彦さん、松永一義さん、小越憲泰さん

小宮さん、長谷川さん卓話ご苦労様です。楽しみにしています。

7月18日分 ￥35,000  
今年度累計 ￥130,000

## 卓 話

### 「自己紹介とディズニーの話」

小宮好智 会員



みなさん、こんにちは。日本旅行の小宮でございます。

冒頭「海の日」の新潟中越沖地震では県下に大きな被害が発生し、被災にあわれた皆様には心よりお見舞い申し上げます。

さて、私事ですが、4月に三条RCに入会させていただいてから、

確か3回目の出席で、すぐに「三条RC創立50周年記念式典」という大イベントに参加をさせていただき、あっという間に、3ヶ月半が過ぎようとしております。

無我夢中の3ヶ月でしたが、本日お話をさせていただく機会をいただきましたので、せっかくですから改めて簡単に自己紹介をさせていただきたいと思っております。

生まれは昭和31年10月29日、東京の下町の深川に生まれました。親子3代が深川で育ち、ちゃきちゃきの江戸っ子です。

小学校は地元の小学校を卒業し、中学・高校と昨年ハンカチ王子の斎藤祐樹くんが話題になりました高校を経て、大学も斎藤祐樹くんと同じ都の西北の教育学部を卒業いたしました。

この中にも同窓の先輩も沢山いらっしゃるかもしれませんが、何卒よろしくお願ひいたします。

それから、昭和54年4月(株)日本旅行に入社し、以来ずっと東京中心で営業の仕事をしてまいりました。

平成11年に管理職になってからは、新橋・大宮・京橋・横浜と都心の支店の支店長を経験させていただきました。

家族は、家内のほかに長男・長女と愛犬の4人と1匹の家族です。

10年ほど前に浦安に転居し、今回、初めて新潟の地に単身赴任でまいりました。入社して初めての単身赴任でもあり、新潟の地へは仕事でもなかなか来る機会もなく、まるっきり初めての土地でしたので、不安ではありますが、やっと慣れてきた今日この頃です。

前置きの自己紹介はこのくらいにさせていただき、今日はせっかくの機会ですから、私が住んでいる浦安にある、東京ディズニーランド(TDL)の母体であるディズニーの魔法のお話をさせていただこうと思っております。

皆様もう何度もTDLへはお出かけになられたことと思います。TDLへ一歩、足を踏み入れると、毎回ながらそこが別世界であることに気づかれると思います。

メインストリートを抜けると美しく輝くシンデレラ城、キャストと呼ばれる従業員からは絶え間なく笑顔があふれ、ゲストと呼ばれるお客様の笑い声があちらこちらで響く等々だれでもがディズニーの魔法にかかり、夢のひとつを過ごす別世界の世界がそ

こにあります。

ディズニーランドは勿論、アメリカで生まれロサンジェルス・オーランド、浦安、パリ、香港と拡大し、世界で最も人気のあるテーマパークの一つであるということは皆様の周知の事実であります。

昨今、日本で沢山のテーマパークが厳しい営業状況を強いられている中で、東のTDL西のUSJが東西の両横綱といわれておりますが、現状はTDLが完全に一人勝ちの状況です。

では何故、ディズニーランドがこれだけの人気を保っているのか、その秘訣を少し一緒に考えてみたいと思っております。

その答えは、楽しいアトラクションの数々や魅力あるショーの演出は勿論のことながら、つねにお客様の期待を超え、徹底的に顧客満足度にこだわった顧客サービスを継続し、お客様を感動させるという無形のサービスにあります。

ディズニーが挑戦しつづけているのは、「日ごとに高まるゲストの期待を超えて、ゲストに感動を与える」という非常に難易度の高い顧客サービスです。

普通の生活を振り返ってみれば、たまには「おお！」と驚かされるような気の利いたサービスを提供してくれる企業は沢山あります。

私たちの旅行業というのも、まさにサービス業のはしくれでございますが、例えば店頭の社員が的確なサービスを提供することにより、お客様から感謝されるということもあります。毎期待以上だったと評価されることが、いったいどれくらいあるでしょうか？

当然、私は支店長という立場として、社員に対して、「お客様が感動できるようなサービスを提供しましょう」と繰り返し朝礼の場で話をする訳ですが、実際は恥ずかしながらなかなか思い通りにできないのが現状です。

そこでディズニーが取り組んでいるのが、クオリティ・サービス・サイクルを使ったサービス提供の共通プロセスを確立するという努力です。

サービスに対する共通ビジョンを作り出し、そのビジョンに向かって企業が持つ資産(従業員・設備・プロセス)をいかに連携させ、一体化させていくかという企業努力が感動をつくり出す裏には隠されているのです。

「私の仕事は人々のため、特に子供たちのために、幸せを創造することである。」と半世紀前にウォルト・ディズニーは言ったそうです。

一見、単純で直接的な言い方ですが、この言葉はディズニーのサービス倫理の根本をあらわしている言葉です。そしてこれこそが、ディズニーのミッションであり存在理由であり、ディズニーのサービステーマなのです。

私の長男も大学の時に一時ディズニーランドでキャストとしてアルバイトをしていたことがございますが、その際に、子供さんのゲストと話をするときは、しゃがんで子供さんの目線にあわせて話をするよう指導を受けたそうです。

例えば、ゲストという言葉を考えてみていただくと、



「ゲストが満足していない。」というのと、「消費者が満足していない。」というのでは、従業員が受けるイメージは格段に違います。キャストにとってゲストはもてなすべき相手であり、消費者は統計上の存在にすぎません。もし相手がゲストであれば、その人を幸せにするのが自分の役目であり責任であると強く感じるように教えるわけです。

パフォーマンスという言葉も、特別なイメージを生む効果があります。レストランのテーブルを片付ける行為も、パーク内のゴミを拾う行為も、それがパフォーマンスであれば、より質の高い仕事ができるように仕向けるわけです。

そんな些細な一つ一つの取り組みにディズニーの魔法の秘密が隠されているのを感じました。

またキャストに絶えず質の高いサービスを提供しつづけさせ、日ごとに高まるゲストの期待を超え、ゲストに感動を与え続けるという魔法こそが、ディズニーマジックの根本でディズニーランドが最高のテーマパークであり続けられる秘訣だと思いました。

サービス業に従事する私としては、この考え方をしっかり理解し社員を育て上げていかなければならないと痛感し、これからの仕事の参考にしていきたいと思っております。

これにて、今回の発表を終わらせていただきます。ありがとうございました。

## 長谷川 聡 会員



卓話ということでお話をさせていただきます。

実は、私は銀行員でございますので、まずは最近の景気や地場産業の動向等のお話等をさせていただこうかとも考えておりましたら、一昨日の中越沖地震が発生いたしました。亡くなられた方のご冥福

をお祈り申し上げますとともに、罹災された方々、企業の皆様にお見舞い申し上げますとともに、早いご復興をお祈りする次第であります。

こうした事情で特に県内経済の状況につきましては、この震災の影響もあり得ますことから、本日はそのお話を差し控えさせていただき、私個人の関心事でありますある「映画」とこれから始まる「裁判員制度」について少々お話させていただきます。

なお、地震発生日から昨日までその対応に追われておりましたので、資料を作成できませんでしたので、すみませんがお話だけとさせていただきます。

まず映画の話ですが、今年1月に全国で封切になりました、「それでもボクはやっていない」という邦画でありまして、「シャルウィダンス」や「シコふんじゃった」という映画を撮った周防正行という監督が、「シャルウィダンス」を撮って以来11年ぶりに製作した映画です。

ご覧になった方はご存知と思いますが、内容は東京の満員電車内で発生した「痴漢冤罪事件と裁判」をテーマにしたものです。被害者は女子中学生、主

人公の被告人は求職中の青年です。

ある朝、その青年が就職志願先の会社に面接に向かうために乗車した、ラッシュアワーの電車内で、目の前にいた女子中学生から「痴漢」と言われ、そのまま駅で逮捕されます。青年は無実を主張し裁判で争いますが、一審で有罪となり即控訴するところで映画は終わります。

実は、周防監督はこの映画を製作するまでの数年間に、いくつかの痴漢事件も含め300件以上の刑事裁判を傍聴したそうですが、この映画を作製するきっかけとなり、映画のストーリーにはほぼモチーフとして引用された事件が、平成15年2月に実際に起きた事件でありました。被告は31歳の男性で就職先で試用期間中の身、被害者は14歳の女子中学生、舞台は乗車率250%の西部新宿線で、午前8時を境にした約10分間程度の乗車時間内に「痴漢」の疑いをかけられ、高田馬場駅で逮捕されました。その事件の主任弁護人を担当致しましたが、安田という弁護士で私の親友でありました。映画では奴の役を役所広司が演じましたが似ても似つかない奴ですが、周防監督の方から映画にしたいと要請があり、公判当初よりこの裁判に関わってくれたと聞いております。映画の詳細は省略しますが、モデルとなりましたその事件自体は、東京地裁で約1年3ヶ月程過ぎた13回目の公判で無罪を勝ち取りました。検察は控訴せず無罪が確定しました。

通常「痴漢」という犯罪は99.9%が有罪になるそうです。実際悪い奴も多いのかもしれませんが、無罪の立証が難しく、また都道府県の迷惑防止条例違反事件として、有罪で東京都の場合で「6ヶ月以下の懲役または50万円以下の罰金」でありどちらかといえば軽犯罪です。初犯なら罰金を払って終わりか、示談で解決という策もあり得ます。有名人でもなければ静かに娑婆に戻れます。一方、無罪を主張すると裁判は長引き、有罪の確立が高く、職を追われ社会から冷たい目で見られる。控訴審においても逆転無罪になるケースは3%程度です。

被疑者・被告人は満員電車に乗る人々ですから、普通は顧問弁護士などいないでしょう。ですから1回目は無料で比較的費用の安く上がる当番弁護士といわれる国選弁護士が担当します。映画の一場面にもありますが、弁護人は「真実」はどうあれ、「有罪を認めさせて」罰金か示談でサクッと解決した方が、お互いの身のためと思う傾向にもあるのかもしれませんが、そうなるとそこに存在しますのは、「真実かどうか」ではなく、「早く楽になりたい」という感覚が人間として優先するのかもしれませんが。

この実際の事件につきましては、実は、被告人はそのとき痴漢行為ができなかったはずだということを目撃した人がおり、後に名乗り出て証人になってくれ、周防監督がその証言をもとに再現ビデオを作成してくれ、それも証拠として採用されたことも、影響が大きかったようですが、第一審で完全無罪となったケースとして、判決の出た16年当時は話題になっており他の痴漢冤罪事件にも影響を与えました。

その映画が封切られての後、メディアも冤罪事件

報道が頻繁になり、その流れもあってか自白のみで有罪とされた事件、鹿児島県のある街での県会議員選挙における集団起訴と全員無罪判決、富山の強姦事件で2年服役した人の無罪等、いくつかの事件が冤罪事件として逆転無罪の判決を勝ち取りました。

実は、この映画で周防監督が表現したかったことは、刑事事件の裁判において「真実」はきちんと把握されるのかということと、これから始まる裁判員制度が適正に行われるのかという警鐘にあったのではと私は考えております。

ご存知のように、あと2年後の2009年より裁判員制度がはじまります。この裁判員制度は、我々市民が刑事裁判に参加し我々の社会常識をベースに判決を下し、それがひいては我々市民の自由を市民の手によって守るということに意義を求めている制度です。対象となる事件は、「殺人・強盗致死傷・現住建造物放火等死刑または無期懲役もしくは禁錮に当たる罰に関する事件、および傷害致死・危険運転致死など法定合議事件」つまり3人の裁判官の合議によって審理される一定の重大事件のうちの「故意の犯罪行為によって被害者を死亡させた事件」つまり重大な刑事事件であります。ちなみに痴漢事件は対象外です。

裁判員は、満20歳以上の日本国民で一定の例外的な立場の人以外は対象となります。毎年1回、各市町村の選挙管理委員会が、衆議院議員の選挙権を有する人の中から、クジによって裁判員候補予定者を選びます。そして、各地方裁判所がその結果に基づき裁判員候補者名簿を作成し、その名簿からクジで個別事件毎の裁判員候補者が選ばれ、さらに裁判所で候補者に対する質問や不適格理由の存否を調査し、当該事件の裁判員6人が選定されます。裁判員は当該裁判の審理が終わるまでは拘束されますので、仕事に戻ることはできません。

私は、この制度を否定・批判する気は全くありま

せん。ただ、裁判の法廷は「無罪の推定」「疑わしきは被告人の利益」という基本理念はありますが、決して真実は何かを求める場ではなく、証拠とされるものに基づいて、「有罪か無罪か」と有罪と判断した場合の「量刑」を決定する場であるということです。

真実かどうかを確認するには限界があり、最後は市民としての心証で有罪か無罪かを決定する立場になることです。それが果たして確信を持ってできるのかやや不安です。外から見ている場合に当然有罪・死刑が妥当と思える犯罪に対し、自分が裁判員となった場合に有罪と断じ、死刑という量刑に賛成し得るか自信はありません。被告が起訴された事件を起こしたことは事実か、その動機・故意は真実か…迷っても結論が出ない。どうしたらよいのかという経験をするかもしれません。できることなら、そうした重大事件が起きず、裁判員として裁判所に呼ばれることが無い社会になることが望まれます。

最後に、映画の話に戻ります。

この映画は、封切前からテレビのワイドショーにもとりあげられ、私の友人も新聞やラジオ番組でもとりあげられました。東京の映画館では立ち見も出ました。しかし新潟で私は封切日とその10日後の2回見ましたが、2回目にはシネコンの一番小さいスクリーンに上映場所が移動し、観客もかなり減っておりました。やはり満員電車が日常的な東京と車通勤の多い地方の感性や切実感の違いを見ました。同様にテレビドラマで筋書きのある重大刑事犯罪しか見たことのない私が、想像や予断を持たず適正に判断できるのかと、やや懸念を有しておる次第であります。でも、「真実かどうか…」もし、裁判員に選ばれ被告を裁くときにはこれを念頭に臨む姿勢だけは堅持したいとそう思っております。つまらない話でありましたが、御静聴ありがとうございました。

## ●●● 三条ローターアクトの活動 ●●●

### 《活動報告》

◆ 7月19日(木) 19:30~21:00

三条ローターアクトクラブ7月第二例会

(リサーチコア4階異業種交流プラザにて)

例会テーマ「物事の捉え方」

アメリカの9.11、同時多発テロ事件を違った角度から検証したVTRを鑑賞。

その後、「物事の捉え方」について、会員同士でディスカッションを行いました。

◆ 7月21日(土) 13:00~16:00

国際ロータリー第2560地区 新世代奉仕委員会主催講演会 (学生総合プラザSTEPにて)

世界はいま ~法と倫理とエチケット~ に参加



## 《今後の活動予定》


◆8月9日(木) 19:30~21:00

三条ローターアクトクラブ8月第一例会 (リサーチコア4階異業種交流プラザにて)  
例会テーマ「未定」

◆8月11日(土) 19:30~21:00

中央分区合同意見交換会 (リサーチコア4階異業種交流プラザにて)

# 8月の行事予定

 三条ロータークラブ例会日

日	月	火	水	木	金	土
			1 ◆三条RC 渡辺俊彦ガバナー 公式訪問 (記帳できます) PM2:50~ 於 二洲楼	2 ◆三条東RC 米山奨学生卓話	3	4
5	6 ◆三条南RC 会員増強拡大月間 会員増強委員会	7 ◆三条北RC 会員増強拡大月間 地区クラブ奉仕委員長	8 ◆三条RC 外部卓話 うるし工芸作家 渡辺裕之様	9 ◆三条東RC 会員増強月間	10	11
12	13 ◆三条南RC クラブ休会 (記帳できます)	14 ◆三条北RC クラブ休会 (記帳できます)	15 ◆三条RC クラブ休会 (記帳できます)	16 ◆三条東RC クラブ休会	17	18
19	20 ◆三条南RC 会員卓話 天田 匡会員	21 ◆三条北RC 会員卓話 中條耕二バスター	22 ◆三条RC 外部卓話	23 ◆三条東RC 会員卓話	24	25
26	27 ◆三条南RC 夏忘れ例会 (記帳できます)	28 ◆三条北RC 会員卓話 落合益夫会員	29 ◆三条RC 外部卓話 八木神社 宮司 石澤 功様	30 ◆三条東RC 外部卓話 三条ロータークラブ 会長 萩根澤隆雄様	31	

※近隣RC例会変更のお知らせ!

●加茂RC 8月16日(木) 休会

●燕RC 8月16日(木) 休会

8月30日(木) 夜例会 PM6:30~

次週例会 8月1日 渡辺ガバナー公式訪問 於 二洲楼 PM2:50~

次々週例会 8月8日 外部卓話 うるし工芸作家 渡辺裕之 様